

大分市歴史資料館

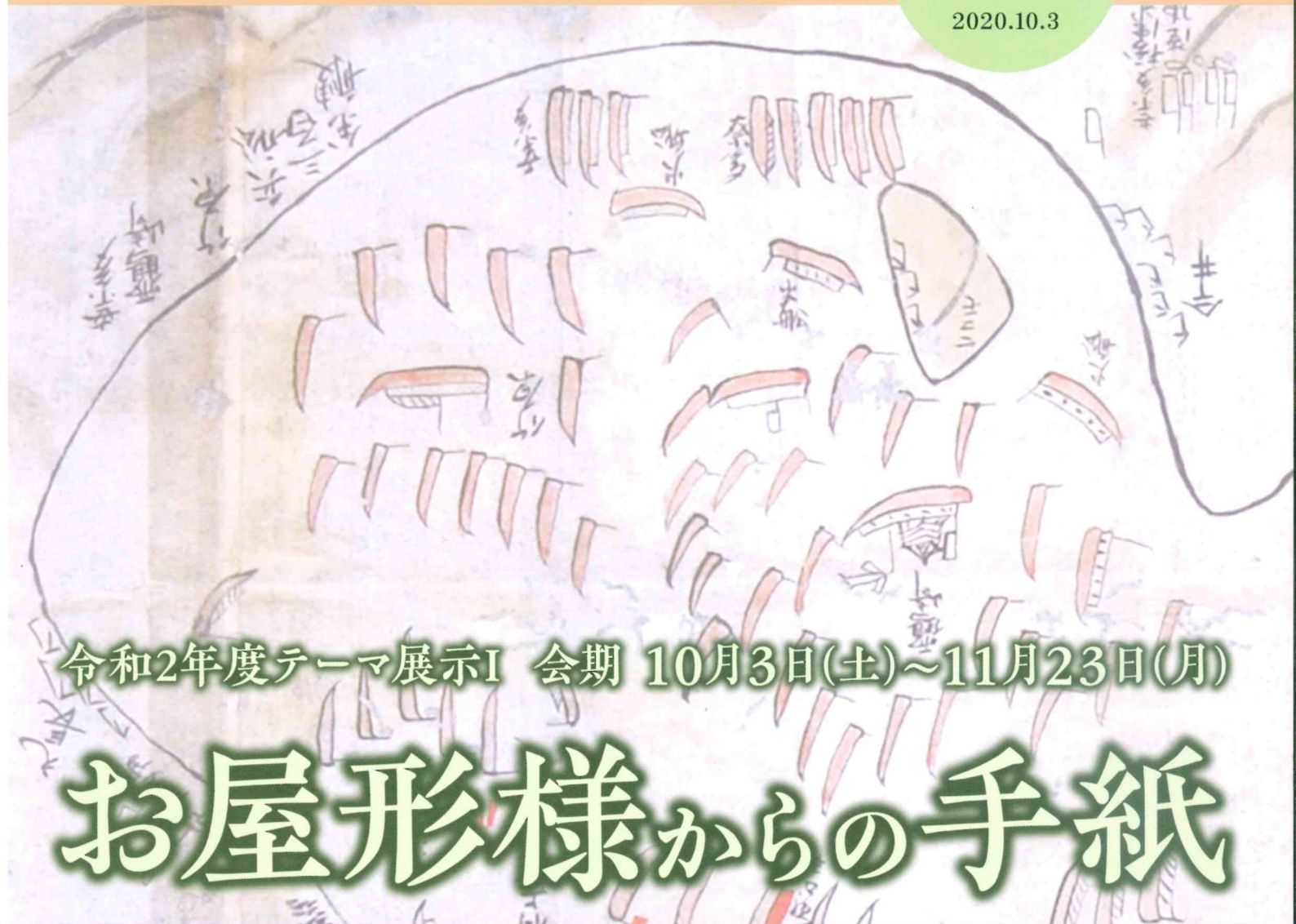
OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

ニュース

vol.

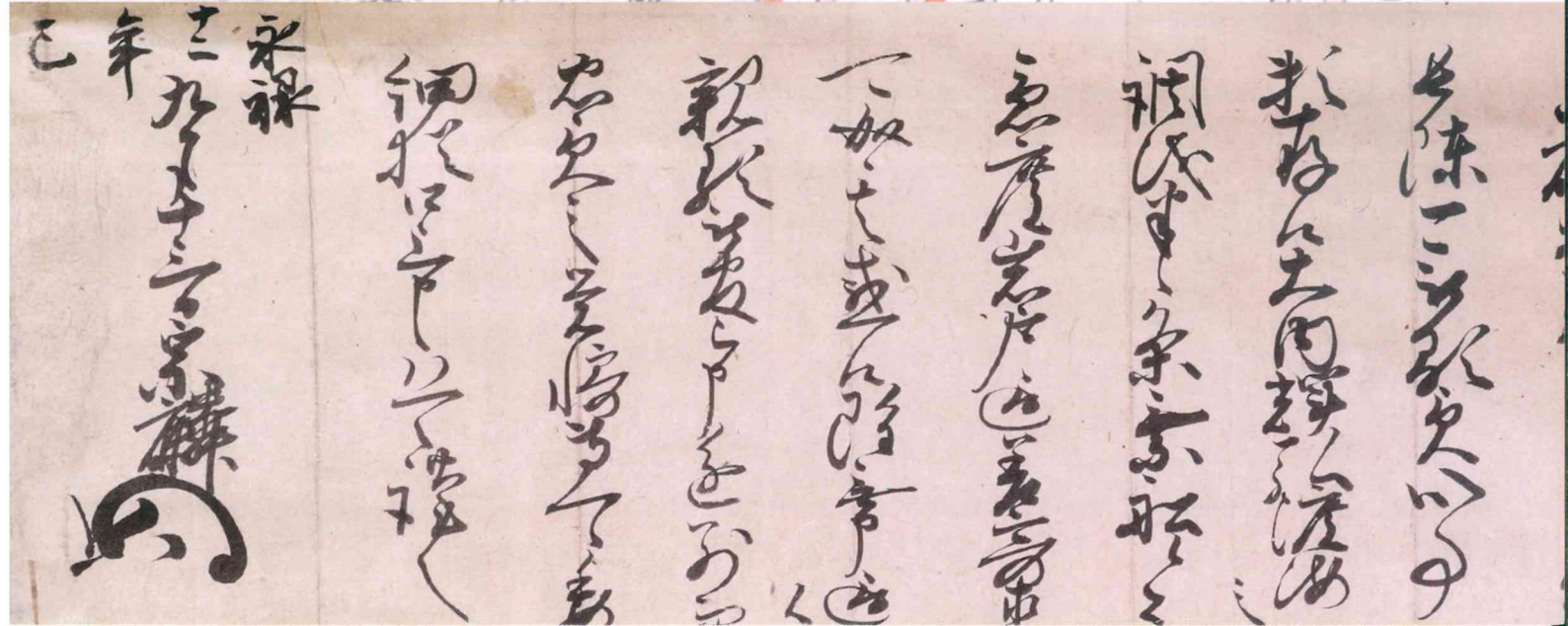
124

2020.10.3



令和2年度テーマ展示I 会期 10月3日(土)~11月23日(月)

お屋形様からの手紙



お屋形様からの手紙

鎌倉時代から戦国時代の約400年にわたり豊後国を治めた大友氏は、21代当主大友宗麟と、その息子義統の時に戦国大名として、九州六か国を支配しました。

大友氏の当主は、当時の人々から「お屋形様」と呼ばれ、各地の人々に対して多くの書状を出しています。その内容は合戦に関するものだけでなく、家臣との主従関係を強めるためのものなど、多岐にわたります。

本展示では、当館所蔵の大友義鑑・宗麟・義統からの書状を中心にさまざまな資料を通して大友氏をとりまく戦国時代の状況や豊後府内の様子を紹介します。



第1章 戦功をみとめ賞した手紙 - 毛利氏との戦をめぐって -

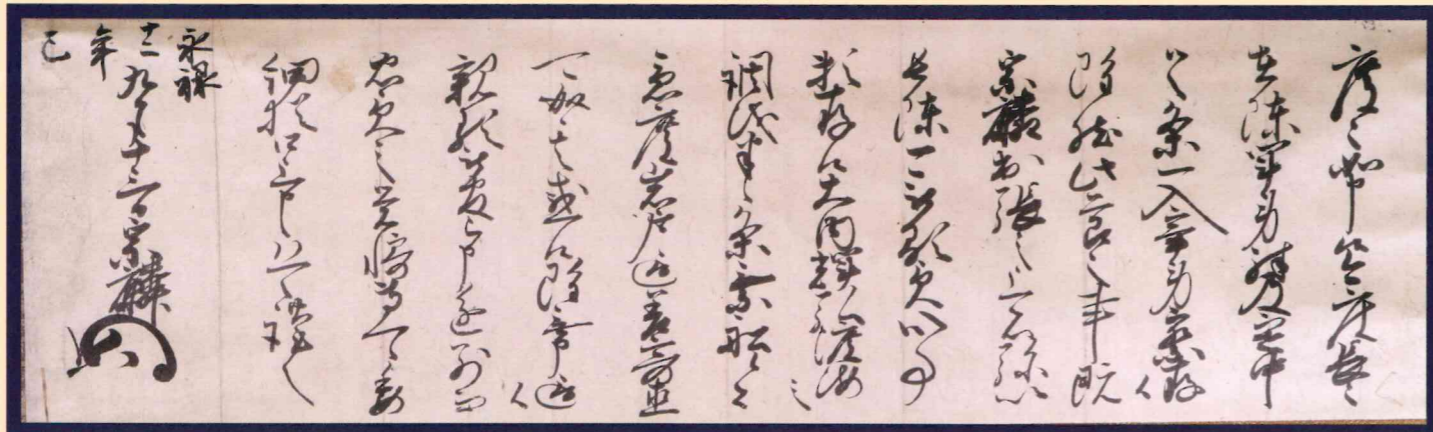
大友氏の家督を継承した大友宗麟は、北部九州を治めていた大内氏の滅亡後、九州六か国を支配していくなかで、中国地方の毛利氏や北部九州の国人とたびたび対決しました。この時期、家臣に宛てた書状は合戦における戦略、他国の状況などを詳細に伝えています。

また、「豊前今井元長船合戦図」は、今井・元長(福岡県行橋市)で起こった、門司城を攻撃するために待機する大友水軍とその軍を撃つ毛利水軍の軍船の配置を描いたものです。この戦いの後、北部九州は、毛利氏の勢力下に入ります。「大友宗麟書状」からは、この状況を打開するため、大内氏の親族である大内輝弘の軍勢を山口に差し向けて、自軍は現在の大宰府側から立花城や宝満城、門司城にいる毛利軍を挟み撃ちにする作戦を立てたことがうかがえます。



「豊前今井元長船合戦図」 大分市歴史資料館

初公開



「大友宗麟書状」 大分市歴史資料館

トピック CGで復元された大友氏館

戦国大名の居館として屈指の規模を誇る大友氏の館です。館の東面には大門と呼ばれた正門と一般通用門にあたる小門があったとみられます。大門の内側には当時「大おもて」と呼ばれた政治や儀式を行う建物が塀重門の向こう側に建っていました。館の座敷を飾ったのが中国の宋や元の時代の骨董品で、夜学型の青磁の器台はその代表格の一つです。



大友館中心建物(大おもて) 遠景 復元イメージCG (大分市教育委員会制作) 中村泰朗氏監修

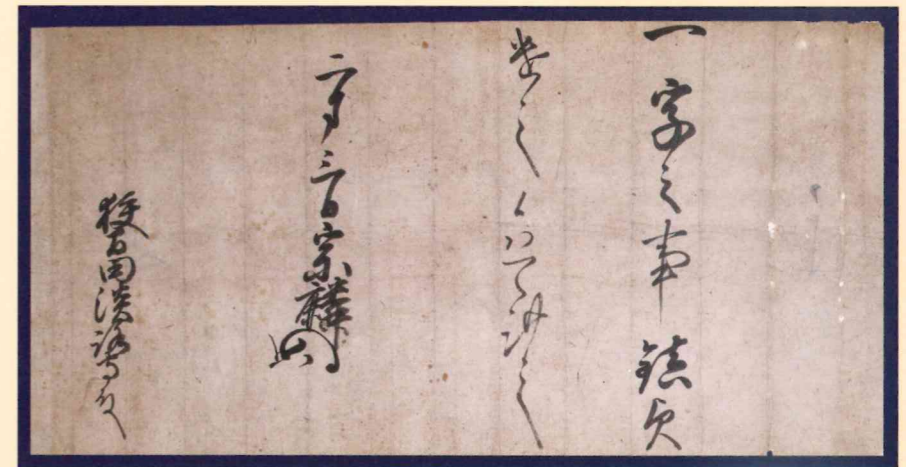
■夜学型器台の由来
もともとは机の上を照らす燈明皿を置く台で、夜学をする際に使用する器台という意味で名付けられました。



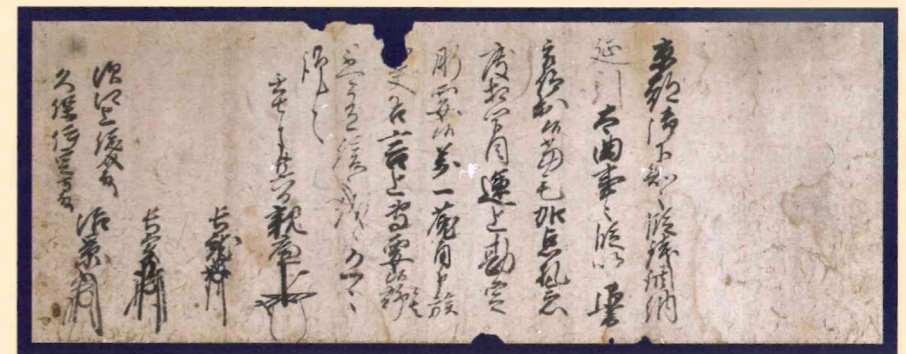
「青磁夜学型器台」 大分市歴史資料館

第2章 お屋形様の手紙と家臣

大友氏の当主が出した書状はいくさの功績や褒美に関するものが大半ですが、贈答儀礼にもなる書状や、当主の名前の一字を家臣に与える書状もあります。これらの書状は戦国大名と家臣との主従関係を確認するために重要でした。「大友宗麟一字書出」は、宗麟の実名である義鎮の「鎮」の字を家臣の狭間田淡路守に与え、鎮貞を名乗らせるという内容です。主君が家臣に対して一文字を与えることは、強固な主従関係の証であり、宗麟だけではなく義鑑・義統の代でも同様に行われました。「大友氏奉行人連署状」は、重臣たちが名を連ね当主(大友義鑑)の意思(税金の納入)を伝えたもので、領国を治めるためには、当主の力だけではなく家臣の協力が必要不可欠だったのです。



「大友宗麟一字書出」 大分市歴史資料館



「大友氏奉行人連署状」 大分市歴史資料館

第3章

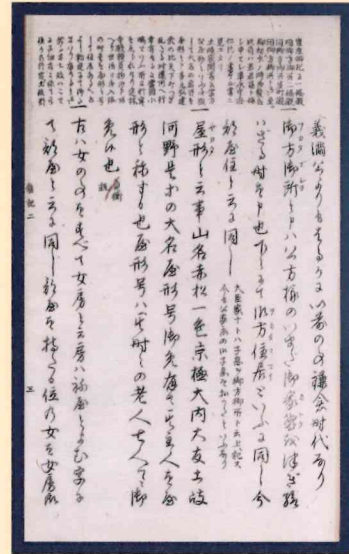
名門大友氏のお屋形様

大友氏の当主は、当時の人々から「お屋形様」と呼ばれました。大友氏は室町幕府との関わりの中で幕府の儀礼や京都文化を積極的に吸収し、当主は文化的な教養を持っていました。こうした教養を身につけることは、幕府との関係を強化し、大友氏の権威を高めるために大きな意味がありました。

「屋形」については、『貞丈雑記』に幕府が大友氏以下、山名・赤松・一色・京極・大内・土岐・河野などの大名家当主のことを屋形と呼ぶことを許可したことが記されています。「十二月言葉手鑑」は、義統が1月から12月の各月にちなんだ『源氏物語』の一節を浄書し、秀吉の仲介で娶った妻に贈った結納品と考えられます。



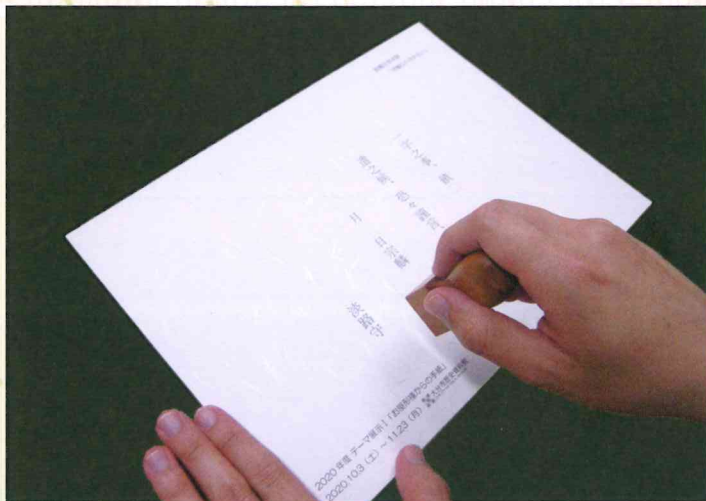
「十二月言葉手鑑」 大分市歴史資料館



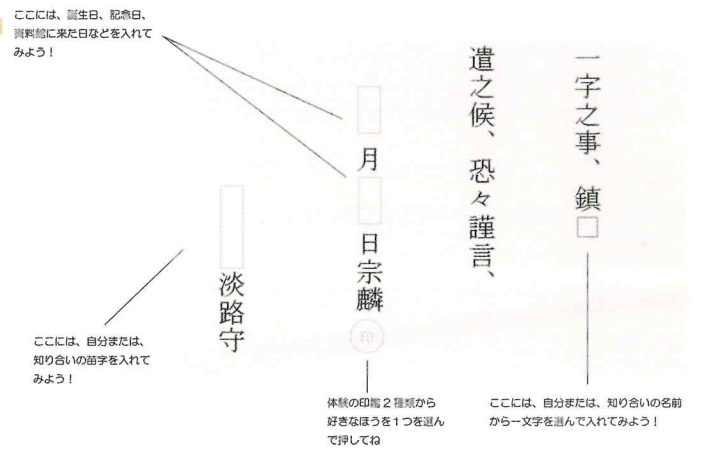
『貞丈雑記』 大分市歴史資料館

お屋形様のお仕事体験

- ◆お屋形様に成り代わり、宗麟公のスタンプを押して手紙をつくろう◆
- 戦国時代も今と同じ、正式な書類にはサインや、印を押していました。
- 書類にスタンプを押して、宗麟公のお仕事を手伝ってみよう。



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更することがあります。



発行 **大分市歴史資料館** 〒870-0864 大分市大学国分960-1 TEL:097-549-0880 FAX:097-549-5766



【開館時間】入館は16:30まで 【休館日】※ただし祝日の場合は開館 月曜日(第1月曜を除く)、第1火曜日 祝日の翌日 【年末年始の休館日】 12/28-1/4 【観覧料】※団体は20名以上 大人210円(団体150円) 高校生100円(団体50円) 中学生以下無料

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者は無料。◎入館時に受付で手帳を提示してください。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更することがあります。

発行日:令和2年10月3日